

令和9年度
獨協医科大学大学院医学研究科(博士課程)
学生募集要項



獨協医科大学

令和 9 年度獨協医科大学大学院
医学研究科（博士課程）学生募集要項
目 次

建学の理念／教育理念／アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	1
学生募集要項	2
1 専攻課程および募集人員	
2 出願資格	
3 社会人枠の場合	
4 出願資格審査	
5 大学院医学研究科基礎研究医プログラム（本学所管）による出願資格	
6 入学願書受付期間および提出先	
7 出願書類	
8 選抜方法	
9 試験期日・試験場および試験科目	
10 合格者発表	
11 入学手続	
12 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談	
13 昼夜開講（大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例）による教育の実施について	
14 長期履修制度について	
15 早期修了制度について	
16 個人情報の取扱いについて	
17 受験に当たっての主な注意事項	
大学院医学研究科基礎研究医プログラム（本学所管）	8
大学院医学研究科（博士課程）研究内容一覧	
組織図	11
専攻分野名・指導教授および研究内容	12
形態学系／機能学系／社会医学系／内科学系／外科学系	

☐ A 入学志願票／履歴書

☐ B 志望動機書

☐ C 写真票

☐ D 受験票

☐ E 受験料納付票

受験許可・就学承諾書

誓約書

建学の理念

- 1) 人間性豊かな医師及び看護職者の育成
- 2) 能力の啓発に重点を置く教育方針
- 3) 地域社会の医療センターとしての役割の遂行
- 4) 国際的交流に基づく医学・看護学研究

教育理念

国際的視野を持った豊かな学識及び人間性を養い、専門分野において培った高度な研究能力を基に、生涯にわたり医学・医療の進展に寄与する研究者・医師を育成する。

アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

獨協医科大学大学院医学研究科では、「学問を通じての人間形成」を建学の精神とし、これに基づき、医学研究科の教育理念を「国際的視野を持った豊かな学識及び人間性を養い、専門分野において培った高度な研究能力を基に、生涯にわたり医学・医療の進展に寄与する研究者・医師を育成する。」と定めている。

また、博士（医学）の学位認定に求められる具体的な学修成果や研究能力をディプロマ・ポリシーに示し、その達成に向けたカリキュラム・ポリシーを定めている。

獨協医科大学医学研究科ではこれらの方針を踏まえ、より効果的に学生に対する教育及び研究指導を行うため、次のような素養を備える人を入学生として求める。

1. 大学の医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した人、若しくはこれと同等の学力を有している人
2. 高度で専門的な医学に関する研究能力の修得を目指す人
3. 先駆的な研究活動により、国際的な飛躍を目指す人
4. 高い倫理観と豊かな人間性の涵養に励み、社会貢献を志す人
5. 医学の向上のために、次世代のリーダーとして活躍しようとする熱意のある人

〔禁煙への取り組みについて〕

獨協医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

令和9年度獨協医科大学大学院

医学研究科（博士課程）学生募集要項

＜社会人含む＞

1 専攻課程および募集人員41名（社会人枠による募集人員を含む）

専攻	専攻分野	募集人員
形態学系	生体構築学、病理学	4
機能学系	統合神経生理学、生化学、薬理学、微生物学、ゲノム医科学	7
社会医学系	公衆衛生学、法医学、医学教育学、リハビリテーション科学	5
内科学系	総合内科学 ＜領域＞ 内科学（心臓・血管）、内科学（消化器）、 内科学（血液・腫瘍）、内科学（腎臓・高血圧）、 内科学（神経）、内科学（内分泌代謝）、 内科学（呼吸器・アレルギー）、内科学（リウマチ・膠原病） 精神神経科学、小児科学、皮膚科学、放射線医学、 ゲノム診断・臨床検査医学、病理診断学、総合診療医学、 先端内科学（埼玉医療センター）医工学（日光医療センター）	13
外科学系	総合外科学 ＜領域＞ 腫瘍外科学、下部消化管外科学、消化器外科学、 心臓・血管外科学、呼吸器外科学、小児外科学、 乳腺・内分泌外科学 脳神経外科学、整形外科学、泌尿器外科学・男性科学、眼科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学、産科婦人科学、救急・集中治療医学、 麻酔・疼痛学、形成再建外科学、口腔外科学、 先端外科学（埼玉医療センター）	12
計		41

※ 上記募集人数内において、「大学院医学研究科基礎研究医プログラム（本学所管）」（8頁）を募集いたします。

2 出願資格

※出願を希望する者は、あらかじめ希望する専攻分野および領域の指導教授に相談のうえ、出願すること。

博士課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、入学試験に合格し、かつ、所定の手続を経たものとする。

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士（修業年限6年の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修した者に限る。）の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修した者に限る。）を修了した者または修了する見込みの者

- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修した者に限る。）を修了した者または修了する見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修した者に限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 学校教育法第102条第2項に規定する者（修業年限6年の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修した者に限る。）
- (8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修した者に限る。）を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (9) 医学研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

3 社会人枠の場合

- 2 出願資格の(1)～(9)のいずれかに該当し、医療関係分野、官公署その他民間会社等に在職しており、大学院入学後もその身分を有し、機関長等の受験許可を受けた者

4 出願資格審査

- 2 出願資格の(9)に該当する者は、出願に先立ち個別の出願資格審査を実施するので、出願開始2週間前までに「出願資格認定審査申請書」（本学所定の様式）を提出すること。

(1) 提出先

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880 獨協医科大学 学務部教務課 宛

(2) 提出書類

- ・出願資格申請書（本学所定の様式）※希望の方は7頁の問合せ先にご連絡願います。
- ・修士論文など業績に関する論文（写しも可）

5 大学院医学研究科基礎研究医プログラム（本学所管）による出願資格

別途出願要件（8頁）を満たした者

6 入学願書受付期間および提出先

(1) 入学願書受付期間

受 付 期 間	令和8年10月13日（火）～10月23日（金）
---------	-------------------------

窓口での受付は、土曜日、日曜日を除き、午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送による提出は、期間内必着のこと。

(2) 提出先

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880 獨協医科大学 学務部教務課 宛

7 出願書類

下記の書類を取りまとめ、入学検定料を納付のうえ、本学教務課に提出のこと。

- (1) 志願票 **A**・志望動機書 **B**・写真票 **C**・受験票 **D**・受験料納付票 **E**

※本学所定用紙に出願者本人が記入してください。

- (2) 成績証明書

- (3) 写真 2枚 (3か月以内に撮影した無帽上半身正面の、縦4cm、横3cmのものを、志願票及び受験票の副票に貼付のこと。)

- (4) 卒業証明書 (ただし、本学卒業者は不要)

- (5) 大学院研究科修士課程修了者は、その修了証明書と成績証明書

- (6) 医師または歯科医師免許証を有する者はその写し

- (7) 臨床研修修了 (見込) 者は修了 (見込) 証明書 (臨床研修必修化以前の者は該当期間の在職証明書)

- (8) 入学検定料 30,000円 (証紙 (教務課カウンター前の券売機) 又は本学所定の郵便振替払込書用紙を用い最寄の郵便局から払い込み、郵便振替払込受付証明書を受験料納付票に貼付のこと)

- (9) 外国語試験合格証 (既に本学主催の「学位申請に係る外国語試験」に合格している者のみ)

※社会人枠を希望する者は下記(10)、(11)の書類も提出すること。

- (10) 受験許可・就学承諾書 (本学所定の様式)

- (11) 誓約書 (本学所定の様式、但し出願時に受験許可・就学承諾書を提出できない者のみ)

8 選抜方法

入学者の選抜は学力試験 (外国語および志望専攻科目) および面接の総合判定による。

健康診断は、面接等により必要と認められる場合にのみ行う。

9 試験期日・試験場および試験科目

試 験 日		令和8年11月14日 (土)
試験科目	外 国 語	10:30～12:00
	専攻科目	13:00～14:00
	面 接	14:00～ (当日実施の場合)
試 験 会 場		獨協医科大学教室棟 1 階 138教室

※外国語 (英語) 試験は本学主催の「学位申請に係る外国語試験」に既に合格している者は免除となる。

英和・和英辞書各1冊まで持ち込み可。但し、医学用語事典、電子辞書等は不可。

10 合格者発表

日	時	令和8年12月23日 (水) 午前10時
方	法	大学院医学研究科ホームページ
留 意 事 項		電話・メール等による可否の照会には応じられない。

1 1 入学手続

合格者は、入学手続期間（令和9年1月4日（月）～1月7日（木））内に、下記書類および学費を提出・納入（振込み）すること。書類の窓口での受付は、土曜日、日曜日を除き、午前9時から午後4時までとする。なお、郵送による提出は、期間内必着のこと。

(1) 書類 誓約書・同意書（本学所定のもの）

住民票（本籍の記載のあるもの。ただし外国人は特別永住者証明書または在留カード）

学生調書（本学所定のもの）

写真 3枚（3か月以内に撮影した無帽上半身正面の、縦4cm・横3cmのもの。1枚は学生調書に貼付のこと。）

(2) 学費	入学金	150,000円
	授業料	450,000円
	合 計	600,000円

1 2 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談

疾病・負傷や身体障害のために、回答方法、試験室、座席及び所持品等について特別な配慮を希望する方は、下記期日までに申請書（様式任意）に医師の診断書等を添付して申し出ること。申し出の内容を確認のうえ、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討する。

また、入学後の学習や学生生活などについては、通年で相談に応じる。

事前相談受付期日	令和8年10月2日（金）まで
----------	----------------

【申請書の記載内容例】

- ① 病気・負傷や障がい等の種類・程度
- ② 受験上特別な配慮を希望する事項
- ③ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ④ 出身学校等でとられていた特別措置
- ⑤ 日常生活の状況

1 3 昼夜開講（大学院設置基準第14条による教育方法の特例）による教育の実施について

(1) 趣旨・目的

昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、現に実地診療に当たっている医師、企業に勤務している社会人技術者、教育者及び研究者等の社会人に対し、フレキシブルな教育・研究指導体制を用意し、より受けやすくする制度である。

(2) 授業科目の開設方法

社会人入学者のカリキュラムは、夜間、土・日及び社会人の多くが休暇をまとめて取りやすい夏季休暇期間等に設定し、単位修得のための便宜を図る。（授業科目の履修は研究指導教授と十分話し合い、その指示に従って行う。）

1 4 長期履修制度について

就業を有している等の事情により、標準修業年限（4年）での修学が予め困難であることが見込まれる場合は、標準修業年限を超えて一定の期間（6年）までの計画的な教育課程の履修を認めている。

長期履修制度を希望する場合は、事前に指導教授に相談のうえ、期日までに申請すること。

15 早期修了制度について

本学では優れた研究業績をあげた者で所定の要件を満たした場合は、3年以上の在学年数とする早期修了制度を設けている。但し、社会人入学者については、在学中の3年間に筆頭著者としてImpact Factor 4前後の英語論文が1報以上受理されている必要がある。

16 個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報は「獨協医科大学個人情報保護規程」に基づき、個人情報の保護に万全を期している。

17 受験に当たっての主な注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ・受験票は試験当日必ず持参すること。万一、受験票を忘れた場合は、直ちに申し出ること。
- ・試験日及び試験場間違いの受験は一切認めないので、受験票の記載事項を確認すること。
- ・指定された時間（試験開始時間）までに必ず試験室へ入室し、着席すること。
※試験開始後20分以上遅刻した者には原則として受験を許可しない。
- ・自分の受験番号と同番号の机上票が貼付された席につき、受験票を机上票の手前に置くこと。
- ・試験場では係員の指示に従うこと。

(2) 試験時間中の注意事項

- ・机上には、受験票、筆記用具、事前に申請し許可されたもののみを置くこと。

(3) 不正行為

次のことをすると不正行為となる。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験ができなくなる。また、受験したすべての試験成績が無効となる。

- ・志願票、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の写真を貼付することや本人以外の氏名、受験番号を記入することなど）をすること。
- ・カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ることや他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
- ・配付された問題用紙や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・「解答はじめ」の指示の前に、問題用紙や解答用紙を開いたり解答を始めたりすること。
- ・試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ、スマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書等の電子機器類を使用すること。
- ・試験時間中に携帯電話等の電子機器や時計等の音（着信、アラーム、振動音など）を長時間鳴らし、試験の進行に影響を与えること。
- ・「解答やめ」の指示に従わず、解答を続けること。
- ・試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ・試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ・その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

注) 入学手続き完了後、令和9年3月31日(水)午後4時までに入學辞退を申し出た場合は、入學金を除く學費を返還する。

なお、期限後の入學辞退は、理由の如何に関わらず既に納入した學費は一切を返還しない。

【問合せ先】

獨協医科大学大学院医学研究科
321-0293

栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地

電話番号 0282(86)1111(代表)

0282(87)2419(直通)

大学院医学研究科基礎研究医プログラム（本学所管）

【目 的】

本学医学部では研究マインドの涵養に向けて「医学研究室配属」を開設し、全学年で履修可能なカリキュラムが構築されている。

本プログラムは、この研究医養成教育の理念をさらに発展させ、研究医を志望する学生に対して学部から大学院まで切れ目ない研究教育の機会を提供することにより、実践的研究遂行能力、健全な研究倫理観および基礎医学的な教育能力を有する医師あるいは歯科医師を養成することを目的としている。本プログラム履修者は初期臨床研修を行いながら大学院に在籍して研究活動を続け、効率的かつ早期に研究医を目指すことができる。

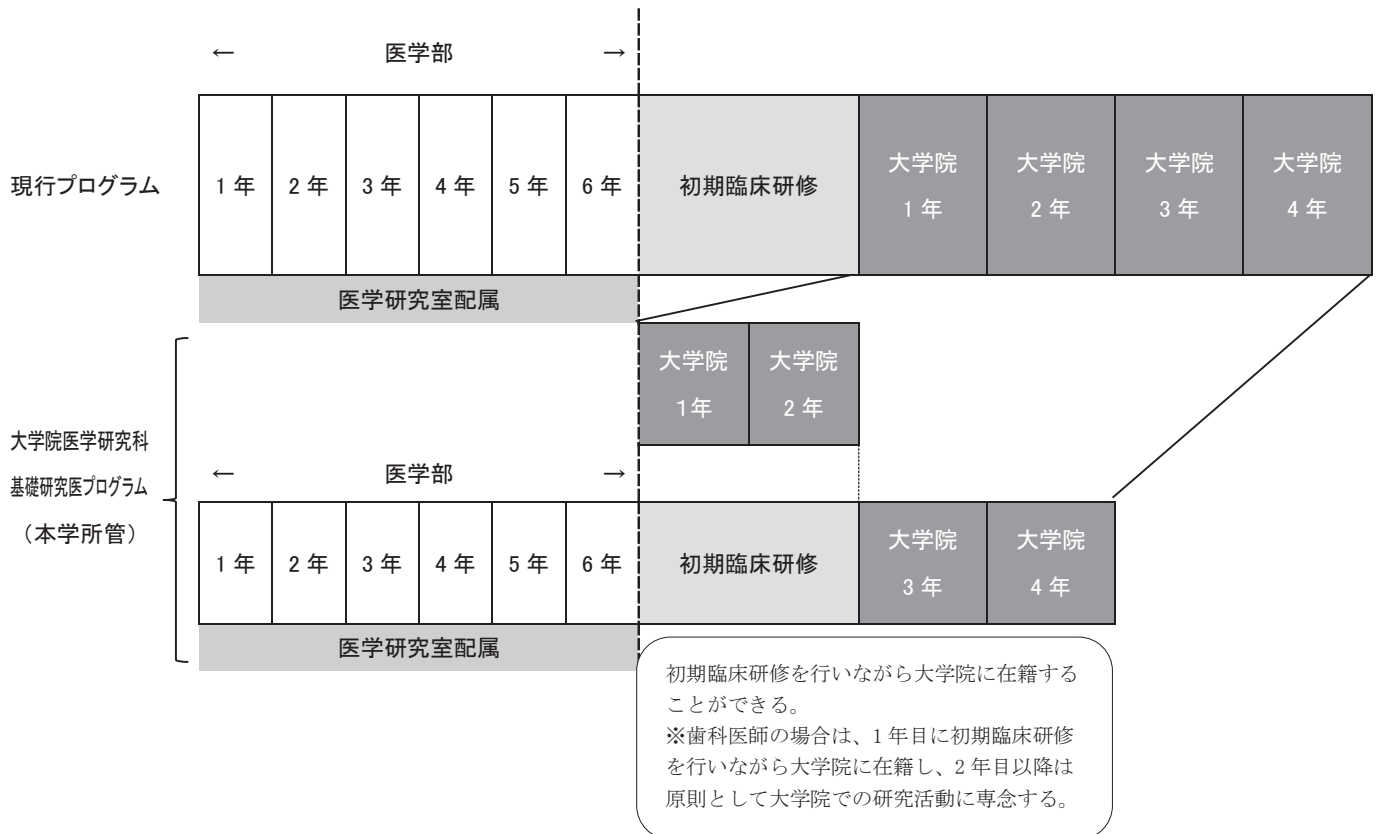
【出願要件】

従来の大学院入学資格に加え、下記の要件を全て満たすこと。

- (1) 大学の医学部医学科または歯学部歯学科を卒業した者、及び令和9年3月に卒業する見込みの者。
- (2) 令和9年3月に医師国家試験または歯科医師国家試験に合格する見込みであること。
- (3) 出願時に、「医学研究室配属」を2年間以上履修済みあるいは履修見込みであり、配属講座の主任教授による履修証明書と推薦書を提出すること。他大学の卒業生は、同等の履修歴を示す証明書と当該履修の指導教授の推薦書を提出すること。
- (4) 筆頭著者または共著者として、査読付き論文（和文も可）が一報以上受理されていること。

【概 要】

- ・ 初期臨床研修を行いながら大学院医学研究科に在籍できる。
- ・ 専攻分野は形態学系・機能学系・社会医学系（リハビリテーション科学は除く）に限る。



大学院医学研究科（博士課程）

研究内容一覽

獨協医科大学大学院医学研究科

(博士課程)



専攻分野名・指導教授および研究内容

専攻	専攻分野	領域	指導教授	研 究 内 容
形態学系	生体構築学		徳 田 信 子	1. 脂質が免疫応答に与える影響の解析 2. 腸特異的エクソソームの同定と腸免疫・腸疾患に果たす役割の解析 3. アロ応答による成熟B細胞の動態と抗体産生機序の解明 4. 胸腺の微小構造がT細胞新生に果たす役割の解析 5. 移植免疫応答における微小環境の解析 6. 細胞動態を応用した新しい免疫抑制法と感染免疫誘導法の開発 7. 神経変性疾患における酸化ストレス機構および中枢・末梢間の免疫クロストークの解析 8. 組織化学法を用いた脳神経核の解析および細胞レベルでの調節メカニズムの解明 9. 脳機能障害患者および健常者における脳の形態学的および機能的役割の解明とその評価
	病理学		矢 澤 卓 也	1. 悪性腫瘍の発生、進展、悪性化メカニズムの解析と新規治療法の開発 2. 腫瘍細胞の形質転換とがん幹細胞化との関連性 3. がんと免疫の関わり 4. 神経内分泌腫瘍の病理 5. 呼吸器疾患の病理
機能学系	統合神経生理学		神 作 憲 司	1. 身体イメージ及び自己意識の脳内機構解析 2. 意識レベルの神経生理学的評価 3. 痛覚機構の神経生理学的研究 4. システム神経補綴の研究開発 5. 運動機能補助及び回復促進 6. 遺伝子改変マウスを用いた疾患治療法の開発
	生化学		小 西 昭 充	1. 老化の基本メカニズムの解明 2. 加齢性疾患モデルマウスの開発 3. リン脂質の生合成および輸送機構の解明 4. 細胞接着を介した上皮バリア制御機構の解明 5. 質量分析法を用いた生体内代謝物の網羅的解析技術の開発
	薬理学		藤 田 朋 恵	1. 組織カリクレインーキニン系による遠位尿細管でのナトリウム排泄機序の解明と慢性腎臓病に対する創薬研究 2. アミノ酸トランスポーターを標的とした新規免疫抑制薬の開発 3. 排尿に関連した下部尿路の薬理学 4. 受精能獲得の制御機構の解明と生殖補助医療への応用 5. 細胞内小胞輸送と疾患との関係

機能学系	微生物学		室山良介	1. B型肝炎ウイルスの複製・発癌機構に関する研究 2. 肝炎ウイルスによる肝発癌における自然免疫系の役割に関する研究 3. フラビウイルスの病原性機構に関する研究 4. フラビウイルスの診断技術開発に関する研究 5. 慢性感染症や悪性腫瘍に対する免疫治療法の開発研究 6. 抗ウイルス薬の開発に関する研究
	ゲノム医科学		小林久人	1. ヒトゲノムと疾患感受性に関する研究 2. ゲノムインプリンティングの分子機構と進化 3. レトロトランスポゾン由来エンハンサーの機能解析 4. 次世代シーケンサーを用いたエピゲノム解析 5. アレル特異的発現（ASE）の包括的解析 6. ヒトと霊長類・哺乳類とのオミクス比較研究 7. 発生・生殖におけるエピゲノム制御機構の解明 8. 疾患関連変異の機能的アノテーションと解析 9. LTRレトロトランスポゾンによる遺伝子制御機構の研究 10. ゲノム情報に基づく個別化医療・バイオマーカー探索
社会医学系	公衆衛生学		小橋元	1. 周産期、乳幼児期、学童思春期、青年期をターゲットとした総合的成育予防社会医学研究 2. 周産期および小児期の健康に関する記述・分析疫学および分子疫学研究 3. 地域の健康長寿を目指した社会疫学研究 4. 女性の健康と疾病予防～特にストレス・身体活動についての記述・分析疫学研究 5. 地域・職域における循環器疾患、悪性腫瘍、難病の観察研究および介入研究 6. Muse細胞の予防医学への応用に関する研究 7. 東洋医学の予防医学への応用に関する研究 8. 臨床疫学共同研究 9. 栄養素・非栄養素の機能性に関する研究 10. 中枢性感作症候群の疫学研究
	法医学		黒須明	1. 突然死に関する研究 2. 交通外傷予防に関する研究 3. 臨床中毒に関する研究 4. 焼死の機序に関する研究 5. 実地医療における生命倫理学的研究 6. 法規制薬物の体内動態に関する研究および法医学的応用 7. 外傷のインパクトバイオメカニクスに関する研究 8. 外因死の予防医学に関する研究

社会 医 学 系	医学 教育 学		山 内 かづ代	1. 臨床技能シミュレーション教育プログラムの開発と評価 2. 臨床技能と連携したプロフェッショナリズムの学修者評価 3. 運動器・外傷のプライマリ・ケアに関するコンピテンシー策定と評価 4. 卒前卒後のシームレスな地域医療実習の開発と指導医育成 5. 女性外科系医師のリーダーシップとキャリア構築 6. 国際・地域視点で捉える多職種連携教育・実践
	リハビリテーション 科学		入 澤 寛	1. MRIを用いた上肢筋の運動学に関する研究 2. MRIを用いた脳血管障害患者の痙攣治療の効果判定 3. 脳血管障害患者の筋量・筋質と栄養に関する研究 4. 脳血管障害急性期における筋量・筋質と咬筋に関する研究 5. ラットを用いた廃用性筋萎縮とオキシトシンとの関係 6. ICU入室患者に対する嚥下機能を改善させる因子に関する研究 7. 褥瘡患者の座圧に関する研究 8. 上肢切断者に対する最新の電動義肢に関する研究 9. 高次脳機能障害に対する磁気刺激の効果に関する研究 10. 脊髄損傷者の排便に関する研究 11. 術前リハビリテーションの効果に関する研究
内 科 学 系	総 合 内 科 学	内科学（心臓・血管）	豊 田 茂	1. 血管不全（血管内皮機能、炎症、酸化ストレス） 2. 冠動脈硬化症の発症・進展の機序と薬剤による制御機構 3. 不安定プラークの病態と治療に関する研究 4. 血管形成術後の傷害血管の修復機転と再狭窄の機序 5. 大動脈弁狭窄症の病態に関する研究 6. 急性心不全の病態と新たな治療法の開発 7. 慢性心不全における潜在性心筋障害の評価 8. 心筋拡張障害の成因と予防に関する研究 9. 深部静脈血栓症・肺塞栓症の早期診断および予防法に関する研究 10. 肺高血圧症の病態と治療 11. 致死性不整脈の病態と治療、突然死の予防 12. 心房細動における血栓性合併症の予防 13. 睡眠時無呼吸症候群と心不全・血管不全 14. 栃木県における急性心筋梗塞患者搬送の実態に関する調査研究 15. 心臓リハビリテーション・和温療法に関する研究 16. 脂肪由来再生細胞（ADRC）による血管再生 17. 急性心筋梗塞、劇症型心筋炎におけるMuse細胞による組織修復

内 科 学 系	総 合 内 科 学	内科学（消化器）	入 澤 篤 志	1. 早期慢性膵炎の画像診断と病理所見に関する研究 2. 膵胆道癌の個別化抗癌治療に関する研究 3. 膵癌進展に関わる分子生物学的研究 4. 膵癌に対する免疫療法に関する研究 5. 超音波内視鏡による膵癌浸潤・転移抑制治療の開発 6. 胆膵疾患に対する新たな治療機器開発に関する研究 7. 超音波内視鏡を用いた新たな消化器病疾患診断と治療に関する研究 8. 人工知能（AI）を用いた消化器病内視鏡診断に関する研究 9. 消化器内視鏡画像のコンピュータ解析による病態解明に関する研究 10. 門脈圧亢進症に対する新たな治療法の開発に関する研究 11. 食道胃静脈瘤新たな内視鏡治療法の開発に関する研究 12. 超早期消化管癌の内視鏡診断と治療に関する研究 13. 早期咽喉頭癌・食道癌に対する内視鏡診断と治療に関する研究 14. バレット食道由来腺癌に関する新たな内視鏡診断に関する研究 15. 消化管粘膜障害、修復に関する研究 16. 消化器癌の癌遺伝子発現に関する研究 17. ヘリコバクターピロリの遺伝子学的研究 18. 消化管粘膜下腫瘍に対する低侵襲性治療法の開発に関する研究 19. 消化器癌に対する新たな低侵襲性治療法の開発 20. カプセル内視鏡の新たな開発に関する研究 21. 炎症性腸疾患の生物学的製剤を用いた治療に関する研究 22. 潰瘍性大腸炎診療における新たな内視鏡画像診断に関する研究 23. ウイルス性肝炎治療に関する研究 24. 肝細胞癌の早期診断、予防、治療法に関する研究 25. 消化器癌に対するレーザー治療法に関する研究 26. 消化器疾患に対する超音波を用いた診断と治療に関する研究 27. 分子イメージング解析による胆管・膵管ステント閉塞分子群の集積機序の解明 28. バイオフィルムに着目した抗菌胆管ステントの開発 29. 超音波内視鏡を用いた新規血管塞栓治療の開発
		内科学（血液・腫瘍）	今 井 陽 一	1. 造血細胞の分化制御機構の解析 2. 白血病の分子病態・治療に関する研究 3. 多発性骨髄腫の分子病態・治療に関する研究 4. 再生不良性貧血の分子病態・治療に関する研究 5. 造血器腫瘍に対する新規免疫療法の開発に関する研究 6. 発生工学的手法を用いた白血病モデル・マウスの作製 7. 発生工学的手法を用いた白血病関連遺伝子の機能解析 8. 造血幹細胞移植に関する研究 9. CAR T-細胞療法に関する研究 10. 白血病の分子標的療法の開発に関する研究

内 科 学 系	総 合 内 科 学	内科学（腎臓・高血圧）	頼 建 光	1. 慢性腎臓病の病態解明と進展阻止に関する研究 2. 高血圧の成因、病態と治療に関する研究 3. 二次性高血圧の診断と治療に関する研究 4. 急性腎不全の予防と治療に関する研究 5. 生活習慣病と加齢による腎障害の予防と治療に関する研究 6. 腎不全患者における循環器系合併症の予防と治療に関する研究 7. 腎炎、ネフローゼに対する集学的治療の研究 8. 体液の恒常性維持機構の破綻がきたす病態解明と治療法の開発 9. 腎炎、ネフローゼの発症・進展機序の解明
		内科学（神経）	鈴 木 圭 輔	1. 脳血管障害の病態と治療に関する研究 2. 神経疾患と睡眠障害の関連に関する研究 3. 認知症性疾患の病態と治療に関する研究 4. 頭痛の病態と治療に関する研究 5. 神経免疫疾患の成因・病態・治療に関する研究 6. パーキンソン病の診断・治療に関する研究
		内科学（内分泌代謝）	麻 生 好 正	1. 肥満症・2型糖尿病の成因に関する基礎的研究 2. 肥満に伴う内臓脂肪組織の免疫反応に関する基礎的研究 3. 動脈硬化の発症機序に関する基礎的・臨床的研究 4. 糖尿病合併症の病態における組織線維化に関する基礎的研究 5. 糖尿病治療薬の新規作用機序に関する基礎的・臨床的研究 6. 糖尿病性神経障害に関する臨床的研究 7. 糖尿病と肥満症患者の体重制御における精神・行動上の特徴に関する臨床的研究
		内科学（呼吸器・アレルギー）	仁 保 誠 治	1. 気管支喘息の成因・病態・治療 2. 閉塞性肺疾患の病態と治療 3. 呼吸器感染症の病態と治療 4. 間質性肺炎の病態と治療 5. 急性肺損傷の病態と治療 6. 呼吸器の再生医療 7. 樹状細胞の基礎と臨床 8. アレルギー性炎症の成因、治療法の開発 9. 呼吸器悪性腫瘍に関する研究

内 科 学 系	総 合 内 科 学	内科学（リウマチ・膠原病）	池 田 啓	1. 膠原病に合併するマクロファージ活性化症候群におけるサイトカイン解析 2. 膠原病・リウマチ性疾患の肺病変のパターン解析 3. 遺伝子改変マウスを用いた自己免疫性疾患・リウマチ性疾患におけるRNA編集酵素の機能解析 4. 自己免疫性疾患・リウマチ性疾患における新規自己抗体の役割 5. 膠原病・リウマチ性疾患の分子標的治療に対する治療反応性の解析 6. 膠原病・リウマチ性疾患の画像診断 7. 膠原病・リウマチ性疾患のヒト検体を用いたオミックス解析 8. データベースを用いた膠原病・リウマチ性疾患のビッグデータ解析
	精神神経科学		古 郡 規 雄	1. 精神疾患の疫学的研究 2. 抗精神病薬の治療反応性予測に関する薬理学的研究 3. 抗うつ薬の治療反応性予測に関する薬理学的研究 4. 精神疾患のバイオマーカーに関する研究
	小児科学		白 石 秀 明	1. 気道炎症の病態と治療に関する分子生物学的研究 2. 食物アレルギーのアレルゲンコンポーネントに関する研究 3. 気道ウイルス感染の気管支喘息発症および増悪に関する研究 4. 早産児の呼吸障害、慢性肺疾患の予防および治療に関する研究 5. 成長障害の病態と治療に関する分子生物学的研究 6. 小児のメタボリックシンドロームに関する疫学的・生化学的研究 7. 小児の悪性新生物および血液疾患の病態と治療に関する研究 8. 小児の腫瘍性疾患の遺伝子的研究 9. 小児てんかんの病態と治療に関する研究 10. 小児心疾患の臨床的研究 11. 川崎病の病因・治療に関する研究
	皮膚科学		井 川 健	1. 強皮症の病態・治療の研究 2. 薬剤アレルギーの研究 3. 真菌症の研究 4. 先天性結合組織異常症の病態・診断の研究 5. 皮膚悪性腫瘍の診断・治療の研究 6. iPS細胞を利用した再生医療に関する研究 7. 乾癬に関する研究 8. じんま疹に関する研究 9. アトピー性皮膚炎の病態・治療の研究

内 科 学 系	放射線医学		曾 我 茂 義	1. 新たな画像診断技術、新領域の開拓 2. 更なる人体の可視化 3. 画像診断の精度向上と新たな診断基準の構築 4. 新たなIVR（画像ガイド下治療）の開拓 5. 既存のIVR（画像ガイド下治療）の改良、改善 6. 新たな装置やデバイス、アプリケーションの臨床応用 7. 核医学治療、セラノスティックス 8. 放射線治療に関する基礎的・臨床的研究
	臨床検査医学・ゲノム診断		小 飼 貴 彦	1. 内分泌・代謝疾患の遺伝子診断 2. 甲状腺ホルモン合成・作用の病態生理 3. 転写因子と遺伝子発現機構 4. 医療関連感染（院内感染）の制御・予防に関する研究 5. 多剤耐性菌感染症の遺伝子診断および疫学的研究 6. 検体検査の品質を保障する運用の構築
	病理診断学		石 田 和 之	1. 胆膵領域腫瘍における癌微小環境の検討 2. 膵EUS-FNAの診断精度向上の試み 3. 癌に対する化学療法後の病理効果判定方法の確立 4. 消化管癌の腫瘍形成メカニズムの検討 5. 臓器移植後、骨髄移植後の肝臓、消化管における組織所見の検討 6. 尿路上皮癌におけるがん微小環境の解明および予後との関連 7. 病理医を養成する教育システムの構築
	総合診療医学		志 水 太 郎	1. 新しい診断戦略の開発 2. 既存の各診断戦略の診断性能の研究 3. 臨床医学教育における診断戦略教育をはじめとする学習効果の研究 4. ITとの共同を基にした新しい診断支援システムの開発 5. 非特異的な症状を呈する診断困難例の診断学的解析 6. 病歴と身体診察の精度の研究 7. 不明熱及び感染症診療の疫学研究 8. 総合診療に関する臨床に留まらない広範な領域の研究

内科	先端内科学（埼玉医療センター）	橋本貢士	1. 最先端の内分泌代謝疾患の診断学、治療学についての研究 2. 血球の産生調節機構と血液疾患の病態・治療についての研究 3. 肺癌、COPD、びまん性肺疾患等の病態解明に関する研究 4. アレルギー疾患、膠原病・自己免疫疾患の病態解明に関する研究 5. 消化管および肝胆膵疾患の病態解明と予後改善のための研究 6. 冠動脈疾患、心不全の予後改善を目標とした研究 7. 不整脈の病態解析とアブレーション治療の研究 8. 神経疾患の病態・診断・治療および睡眠医学に関する研究 9. CKD、DKD、ネフローゼ症候群、腎不全についての研究 10. 小児の先進医療に関する研究 11. 皮膚バリア機能と皮膚免疫応答の特殊性についての研究 12. 精神障害と知的障害の心理行動症状に関する基礎的・臨床的研究 13. 最新の画像診断ならびに高精度放射線治療についての臨床研究 14. 検査医学一般および感染制御、渡航医学についての研究 15. 超音波に関する基礎的研究と、超音波診断に関する臨床的研究 16. 先端医療としての血液浄化療法の臨床応用に関する研究 17. 総合診療医学における地域医療、高齢者医療に関する研究
	医工学（日光医療センター）	前嶋康浩	1. 心・血管疾患の発症における選択的オートファジーの制御異常の関わりを解明する研究 2. 心不全の発症におけるフォークヘッド転写因子の制御異常の関わりを解明する研究 3. がん治療に関連した心筋障害の発症機序の解明およびその治療標的を探索する研究 4. 大型血管炎の発症・病状進展における腸内細菌叢の関与を探索する研究 5. 高安動脈炎の発症・病状進展における動脈周囲褐色脂肪組織の関与を解明する研究 6. 遺伝子異常に基づく心筋疾患について網羅的に探索する研究 7. 野生型トランスサイレチン心アミロイドーシスの発症機序を解明する研究 8. 微小循環に関する研究 9. 血管機能に関する研究 10. 白血球活性化制御に関する研究 11. 革新的近赤外線スペクトル解析を用いての臨床研究 12. 糖尿病性腎症進行抑制に関する臨床研究 13. 多職種介入心血管2次予防教育の開発 14. 骨格筋電気刺激を用いたより安全かつ効果的な心血管リハビリの開発 15. 心血管リハビリのノンレスポnderの研究 16. 肺高血圧症の治療とリハビリに資する研究 17. 末梢動脈疾患の治療とリハビリに資する研究 18. がんリハビリに資する研究

外 科 学 系	総 合 外 科 学	腫瘍外科学	小 嶋 一 幸	1. 消化管癌の低侵襲外科治療とQOLに関する研究 2. 消化管癌の術前・術後薬物療法・分子標的療法の研究 3. 胃切除の再建方法と術後QOLの研究 4. 消化管癌の発生・進展・転移に関する分子生物学的研究 5. 消化管癌の画像診断とその臨床応用 6. 外科感染症の予防と治療に関する研究 7. 小児悪性腫瘍の診断と治療に関する基礎的臨床的研究 8. 小児の外科的疾患に対する腹腔鏡下手術手技の研究 9. 小児外科疾患術後のQOLに関する研究
		下部消化管外科学	水 島 恒 和	1. 下部消化管の低侵襲外科治療と治療成績に関する研究 2. 大腸癌の術前・術後化学療法・分子標的療法の研究 3. 大腸癌の予後予測因子に関する研究 4. 炎症性腸疾患に対する薬物療法と外科治療成績に関する研究 5. 外科感染症の予防と治療に関する研究 6. 栄養状態と外科治療成績に関する研究 7. 下部消化管疾患と排泄機能に関する研究 8. 下部消化管疾患患者における脂肪幹細胞の特性に関する研究
		消化器外科学	青 木 琢	1. 門脈塞栓術後肝再生に関する研究 2. 生体肝移植後の肝再生に関する研究 3. 低侵襲肝切除とQOLに関する研究 4. 肝切除における術前肝重量予測とシミュレーションに関する研究 5. 大腸癌肝転移の予後予測因子に関する研究 6. B型肝炎由来肝細胞癌における特異的蛋白発現の意義 7. B型肝炎既往発癌症例における遺伝子変異の網羅的解析 8. C型肝炎治療後およびNASH由来肝細胞癌における遺伝子変異の網羅的解析 9. 神経内分泌腫瘍の網羅的遺伝子変異解析に基づく新規治療開発 10. 膵癌の薬剤感受性バイオマーカーの探索的研究 11. 切除可能性分類に基づく、膵癌治療アルゴリズムの構築 12. 膵切除後の膵再生に関する臨床的研究 13. 胆道癌に対する集学的治療の開発
		心臓・血管外科学	川 村 匡	1. 低侵襲心臓手術の開発と基礎的研究 2. 人工心肺中の病態生理に関する研究 3. スtentグラフトを用いた低侵襲大動脈瘤治療の開発 4. カテーテルを用いた心臓弁膜症治療の研究 5. サルコペニアの手術、周術期における影響及び予防策の開発 6. 虚血性心疾患および末梢動脈疾患に対する再生治療の研究 7. MRIを用いた大動脈瘤破裂の予測因子の研究 8. 大動脈瘤の発生機序に関する研究

外 科 学 系	総 合 外 科 学	呼 吸 器 外 科 学	千 田 雅 之	1. 肺癌の集学的治療 2. 肺癌の分子生物学的ならびに病理学的研究 3. 呼吸器外科領域における内視鏡手術の研究 4. 肺移植の研究 5. 移植免疫学の分子生物学的研究 6. 肺の発生・再生医学の研究 7. 胸腺疾患の生物学的・免疫学的研究 8. 難治性呼吸器感染症の研究
		小 児 外 科 学	小 嶋 一 幸	1. 小児悪性腫瘍の診断と治療に関する基礎的臨床的研究 2. 小児の外科的疾患に対する腹腔鏡下手術手技の研究 3. 小児外科疾患術後のQOLに関する研究 4. 新生児乳児胆道異常に関する基礎的研究 5. 小児外科と再生医療に関する基礎的臨床的研究 6. ビッグデータを活用した小児外科疾患の包括的研究
		乳 腺 ・ 内 分 泌 外 科 学	中 川 剛 士	1. 乳房再建を行う際の、適切な乳がん手術の検討 2. 乳がんの画像診断に関する研究 3. 薬物療法とADL評価に関する研究 4. 乳がんとサルコペニアに関する研究 5. 乳房切除術における皮弁血流評価 6. 乳がん治療におけるがんリハビリテーションプログラムの開発 7. 乳がんの増殖因子、抑制因子の研究
	脳 神 経 外 科 学		阿久津 博 義	1. 脳・脊髄腫瘍の遺伝子解析による予後規定因子の同定・新規治療法の開発 2. 間脳下垂体腫瘍・良性脳腫瘍の細胞株樹立と新規治療法確立のための基礎研究 3. 間脳下垂体・頭蓋底腫瘍の内視鏡手術に関する臨床研究 4. ガンマナイフに関する臨床研究 5. 脳血管障害の疫学、病態、治療（基礎的・臨床的） 6. 脳血管内治療に関する臨床研究 7. 脊髄に対する急性・慢性圧迫の影響についての実験的研究 8. 新しい脊髄脊椎手術手技の長期成績の分析 9. てんかんと脳機能に対する臨床及び基礎研究
	整 形 外 科 学		高 畑 雅 彦	1. 脊柱靱帯骨化症の病態解明 2. 筋骨格組織の異所性骨化に関する研究 3. 骨関節感染症と腸内細菌異常（dysbiosis）に関する研究 4. 原因不明の先天性・症候性脊柱変形におけるゲノム異常解析 5. 大腿骨頭壊死症に対する再生医療 6. 変形性手指関節症の病態解明

外 科 学 系	泌尿器外科学・男性科学		釜井 隆 男	1. 尿路性器悪性腫瘍の発生・増殖・転移に関する分子細胞生物学的研究 2. 尿路性器悪性腫瘍のバイオマーカーの探索 3. 尿路性器悪性腫瘍に対する新規治療法の探索 4. 前立腺癌早期発見の為に癌特異的抗原の研究 5. 男性更年期・LDHの成因・治療の研究 6. 男性不妊症の成因とその治療に関する研究 7. 「QOL」を保った手術手技に関する研究 8. 尿路結石の成因とその治療に関する研究 9. 膀胱、尿道、前立腺における神経生理・薬理学的研究 10. 勃起・射精機能における神経生理・薬理学的研究
	眼科学		河越 龍 方	1. 白内障の成因に関する生化学的研究：酸化ストレス、グリケーション、細胞骨格蛋白質などの水晶体透明維持機構への関与 2. 後発白内障の成因に関する分子生物学的研究 3. 水晶体透明維持への硝子体の役割 4. 角膜内皮障害に及ぼす酸化ストレスの関与 5. 角膜内皮細胞増殖に関する生理学的研究 6. 角膜上皮増殖に関する生理学的研究 7. 白内障手術と角膜の生理機構の関係
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学		中山 次 久	1. 上気道炎症疾患の遺伝的要因に関する研究 2. 好酸球性鼻副鼻腔炎における生物製剤への反応性に関する研究 3. 好酸球性鼻副鼻腔炎の発症・増悪に関わるオミックス解析 4. 鼻副鼻腔・頭蓋底疾患に対する内視鏡手術の適応拡大 5. 嗅覚障害の病態と治療 6. 中耳疾患の外科的治療 7. 頭頸部悪性腫瘍に対する外科学的小および免疫学的治療法の開発 8. 音声障害患者への外科的アプローチ 9. 嚥下障害患者への検査法の改善とその外科的治療法の開発
	婦人科学科		三橋 暁 成 瀬 勝 彦	1. 子宮体癌の発癌予防に関する研究 2. 子宮体癌代謝プロファイル異常の解明 3. 子宮体癌の分子病理学的予後因子の解明 4. 卵巣癌の新規バイオマーカーの研究 5. 閉経後女性における骨代謝・脂質代謝に関する研究 6. 子宮内膜の増殖関連因子に関する研究 7. 胎児循環動態の解析 8. HDPの発生リスクに関する研究 9. 産後出血に対する安全な止血法の研究 10. 周産期医療体制に関するビッグデータ研究

外 科 学 系	救急・集中治療医学		和 氣 晃 司	1. 心血管作動薬の有用性 2. 組織酸素代謝の評価法 3. 急性呼吸不全管理法（ECMOを含む） 4. 血液浄化療法の効果および適応と問題点 5. 敗血症の病態と治療 6. 外傷の受傷機転と重症度評価 7. 病院前救急医療情報の管理 8. ドクターヘリの有用性および効率的運用法 9. 脳蘇生 10. 災害医療（受援と支援、安全管理）
	麻酔・疼痛学		濱 口 眞 輔 山 口 重 樹	1. 手術あるいは神経ブロック時の心筋伝導に関する研究 2. 慢性疼痛の発症メカニズムに関する基礎研究 3. 慢性疼痛と精神・心理的側面 4. 呼吸生理と頸動脈小体に関する基礎研究 5. 交感神経ブロックと血流動態に関する基礎研究 6. 鎮痛薬の作用機序に関する基礎研究 7. 全身麻酔後の精神運動機能の評価 8. 疼痛伝達に関する脳の組織学的基礎研究
	形成再建外科学		飯 田 拓 也	1. 創傷治癒に関する臨床的、実験的研究 2. 皮弁の血行動態に関する臨床的、実験的研究 3. 小耳症に対する手術術式の開発に関する研究 4. 顔面神経麻痺に対する手術術式の開発に関する研究 5. マイクロサージャリーによる微小血管吻合に関する研究 6. 神経血管柄付筋肉移植における筋組織再生に関する臨床的、実験的研究 7. 培養によるin vitro皮膚・軟骨組織の作成に関する臨床的、実験的研究 8. 神経端側吻合における神経再生に関する臨床的、実験的研究 9. リンパ浮腫の成因と治療に関する研究

外 科 学 系	口 腔 外 科 学		川 又 均	1. 口腔癌発生母細胞の同定と予後の関連に関する研究 2. 口腔癌の浸潤転移の分子メカニズムに関する研究 3. 増殖抑制遺伝子tsc-22の機能解析 4. 歯原性疾患に対するin-house panelを用いたNGS解析に関する研究 5. 分子標的薬を用いたADCC活性に関する研究 6. 癌治療を支える口腔ケアの有用性についての研究 7. 全身感染性疾患と口腔内細菌の関与に関する研究 8. 口唇口蓋裂治療に関する国際貢献に関する研究 9. 口腔扁平上皮癌におけるp53全エクソン解析に関する研究 10. 口腔癌におけるPD-1, PD-L1発現解析および炎症との相関に関する研究 11. 口腔扁平苔癬に対するcepharanthineの臨床効果に関する研究 12. 歯科医療従事者の歯科治療時におけるCOVID-19の感染リスクに関する研究 13. びまん性硬化性骨髄炎の診断・治療に関する研究 14. シェーグレン症候群診断基準に関する研究
	先端外科学（埼玉医療センター）		吉 富 秀 幸	1. 消化器疾患の診断と外科的治療に関する研究 2. 甲状腺がんにおけるLET融合遺伝子変異に関する研究 3. 四肢・脊椎の運動器疾患に関する研究 4. オフポンプ冠状動脈バイパス手術法の確立／動脈グラフトの評価、心筋代謝の研究 5. 呼吸器疾患の診断と外科的治療に関する研究 6. 新生児外科疾患、小児悪性腫瘍に関する研究 7. 不妊症、不育症に関する研究 8. 婦人科がんの新規診断法、治療法開発に関する研究 9. 白内障・緑内障・眼底疾患に関する基礎的・臨床的研究 10. 中耳真珠腫、癒着性中耳炎の成因の解明と保存的治療法の研究 11. 脳腫瘍及び脳卒中に対する治療法の研究 12. 排尿障害・尿路性器悪性腫瘍・男性不妊に関する研究 13. 抗加齢医療におけるボディイメージの改善の役割に関する研究 14. シミュレーションによる医学教育・医療訓練に関する研究 15. 新規術中モニタリングシステム開発に関する研究 16. 乳癌における遺伝子発現型による個別化治療の研究 17. 膵癌の特異的血管侵襲に関する病理組織学的研究 18. 細胞診と組織診の対応と細胞診断の向上に関する研究 19. 胸腺腫に関する臨床病理学的研究